

平成30年 第3回 筑前町議会定例会

一般質問通告書

1日目	2日目
9月6日(木) 10:00開始	9月7日(金) 10:00開始
1ページ・・・石丸 時次郎 議員	6ページ・・・福本 秀昭 議員
2ページ・・・川上 康男 議員	7ページ・・・梅田 美代子 議員
3ページ・・・田口 讓司 議員	8ページ・・・河内 直子 議員
4ページ・・・山本 一洋 議員	9ページ・・・一木 哲美 議員
5ページ・・・山本 久矢 議員	

質問順位	第 1 番	議席番号	7番	質問者名	石丸 時次郎
件 名		要 旨			
1 会計年度任用職員制度導入について	<p>(1) 地公法改正に伴う「会計年度任用職員」制度導入に関し、人材確保、費用対効果、質の高い住民サービスの観点から町の考えを問う。</p> <p>①非正規職員の任用期間の上限設定について、総務省の見解は。</p> <p>②継続雇用年数が一定に達していることで応募制限を設けているが問題はないのか。</p> <p>③非正規職員の任用等で専門職・有資格者の配置について、嘱託職員規定要件に該当しない任用も存在している。問題はないのか。</p> <p>④会計年度任用職員の制度設計に関し、自治体としてどのように考えているのか。</p> <p>⑤新制度導入に向けた事務処理マニュアル等も示されているが、導入のためのスケジュールの現状は。</p> <p>⑥安定的で質の高いサービス提供のため、経験やスキルは不可欠。現在本町に勤務する非正規職員を会計年度任用職員に移行することが町民の利益につながると思うが。</p> <p>⑦本来、正規職員を充てるべき恒常的業務に非正規職員を就けていることを踏まえ、非正規職員の待遇改善を図るべきでは。</p> <p>⑧非正規職員の適正な任用・勤務条件の確保を目的とした地公法改正の趣旨を踏まえ、地方財政計画に必要な財源を盛り込むよう国に要請すべきでは。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>				

質問順位	第 2 番	議席番号	10番	質問者名	川上 康男
件 名		要 旨			
1 安心・安全なまちづくりについて (平成30年7月豪雨の実態と今後の対策)		(1) 昨年7月、九州北部豪雨を教訓に6月・7月実施した訓練の成果と今回発生した平成30年7月豪雨で避難された方々の実態と今後の対策を問う。			
		答弁者 町 長			
		(2) ため池の保全・管理について。			
		①機能を果たしているため池の実態は。 ②2つのため池が決壊した原因は。 ③築造して100年を超えるため池もあり、老朽化・漏水等で改善が必要。 把握はしているのか、対策は万全か。 ④国、県への要望・支援対策について。			
		答弁者 町 長			

質問順位	第 3 番	議席番号	2番	質問者名	田口 讓司
件 名		要 旨			
1 安全で安心なまちづくりについて		(1) 防災・減災について。 ①側溝、用排水路の管理点検の強化。 ②ため池等の管理及び清掃の強化。 ③河川の清掃について。 答弁者 町 長			
		(2) 熱中症対策について。 ①学校での対応は。 ②夏休みの期間延長等の考えは。 ③町のイベント等の対応・検討は。 ④独居老人等の配慮は。 答弁者 町 長 教育長			
		(3) 有害ごみについて。 ①分別収集の中に乾電池、電球、水銀体温計、蛍光灯とあるが、年間数量は。 ②最終処分は。 ③水銀について、庁舎内・学校での取り扱い、処分は。 答弁者 町 長 教育長			

質問順位	第 4 番	議席番号	4番	質問者名	山本 一洋
件 名		要 旨			
1	農業政策の振興について	<p>(1) 本町の農業の実態について。 (本町の農業をどう守り育てるのか。地域農業の将来像は。)</p> <p>(2) 先端技術を活用した農業振興施策の振興について。 (農業分野におけるドローン等の研究対策について。)</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>			
2	地域コミュニティのあり方について	<p>(1) 新築の分譲住宅等の建設が増え、人口増につながることは喜ばしい事ではあるが、行政区においては、区への加入や事業等の参加問題など色々な問題も生じているようだ。今後のコミュニティも含めて聞きたい。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>			

質問順位	第 5 番	議席番号	9番	質問者名	山本 久矢
件	名	要 旨			
1	交通安全教育について	<p>(1) 交通ルールを守らない生徒が多い。特に通学時の自転車が悪いが、指導は行っているのか。指導の先生はいるのか。</p> <p>(2) もしも生徒が事故を起こしたり、事故にあった場合の学校の対応・手順は。</p> <p>(3) 保険等の補償内容はどうなっているのか。生徒が加害者側になる場合や通学時だけでなく休日の場合は。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 教育長</p>			
2	防犯対策について	<p>(1) 町内を巡回している車、ちくちゃんバスや公用車にドライブレコーダーを付けて、防犯対策を行ってはどうか。また、町内を巡回する事業者に協力を呼びかけ、ドライブレコーダー取付けの補助を行ってはどうか。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>			

質問順位	第 6 番	議席番号	1 1 番	質問者名	福本 秀昭
件 名		要 旨			
1 ため池、河川の災害対策	<p data-bbox="936 341 2074 462">(1) 昨年に続き集中豪雨等により、河川・ため池の決壊等による災害が発生した。今回の甚大な被害に災害復旧本部によって対応されているが、その対応・今後の対策を問う。</p> <p data-bbox="1016 510 2074 632">①山家川では一時、堤防の上限まで水位が上がった状態であった。特にいぜきの周辺では満水の状況で予断を許さない時間帯があった。問題の「いぜき」改善について、町の考えは。</p> <p data-bbox="1016 638 2074 759">②ため池では中島池が決壊し、他のため池でも堤防の一部崩落などの被害が出た。水田受益者と隣接住民にとっての安全貯水量について、町はどのように考えるか。</p> <p data-bbox="1684 845 1975 884" style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>				

質問順位	第 7 番	議席番号	1 2 番	質問者名	梅田 美代子
件 名		要 旨			
1 災害への対応について	<p>(1) 全行政区毎による避難訓練の実施をすべき。 (2) 災害用マンホールトイレの考えは。 (3) 赤ちゃん用液体ミルクの備蓄を。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>				
2 子育て支援について	<p>(1) 低出生体重児には丁寧な配慮が必要である。 ①未熟児・低体重児の出生数の推移は。 ②行政から未熟児・低体重児への具体的支援は。 ③福岡県から発行されている「小さな天使・親子手帳」(別冊)の活用実態は。 ④低出生体重児向け母子手帳(別冊)の発行・交付を。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>				
3 教育行政について	<p>(1) 新学習指導要領の改訂を受け、2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化される。 ①現状および課題は。 ②ICT環境整備、教職員の研修等は。</p> <p>(2) その後、通学時の鞆や学習荷物等の重量軽減化は図られたか。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長 教育長</p>				

質問順位	第 8 番	議席番号	1 4 番	質問者名	河内 直子
件 名		要 旨			
1 暮らしと健康を守る取り組みについて		<p>(1) 農業をめぐる情勢は大変厳しい。政策の転換が必要と考えるが見解は。TPP11 協定に対する町の対応は。</p> <p>(2) 税負担軽減のためにも制度活用の周知を図るべきでは。</p> <p>①介護認定3～5の方の障害者控除。 ②認知症の方の障害者手帳の取得。</p> <p>(3) 下水道料金の3歳未満免除制度の創設を。</p> <p>(4) 防災カルタの取り組みはどうなったのか。(H28年第4回定例会)</p> <p>(5) 学校検診後の治療の実態は。未受診者への対応は。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長 教育長</p>			

質問順位	第 9 番	議席番号	13番	質問者名	一木 哲美
件名		要 旨			
1	<p>合併特例債関連の事業と本町の財政状況課題について</p>	<p>(1) 合併特例債関連の事業は何項目となり、総事業額はいくらになったか。本町の3割負担額は。現在進行中分と、今後計画分はどうなっているのか。</p> <p>(2) 基金と地方債（平成17年当時と平成29年度）の推移と比較。有形固定資産の現状を踏まえ、維持、修繕等今後の課題にどのように向き合っていくのか。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>			
2	<p>県道77（筑紫野・三輪）号線の課題と対策について</p>	<p>(1) 旧、県道77号線赤坂・砥上地内の大型車車両進入対策をどう考えているのか。（現在の77号線ではドライバーの利用形態に十分な対応ができていない。住民の不安・心配の解消は。）</p> <p>(2) 三並交差点の右折帯設置改良の進展は。（交通量の増加、みなみの里への来場車両の増加等による交差点改良が急がれるが計画は。）</p> <p>(3) 三輪地内弥永西交差点手前で、左折の車が渋滞するが対策をどう考えているのか。（交通量は増加したが、この交差点がネックとなっている。）</p> <p>(4) 県道77号線は交通量が増加し、集団通学する児童たちの歩道横を大型車両等が通過するが危険度が高い。ガードパイプの設置を求めているが設置計画の進展は。</p> <p style="text-align: right;">答弁者 町 長</p>			

3 篠隈地区国道386号沿線両サイドの歩道整備について

(1) 平成28年第2回定例会で、やすらぎ荘入口交差点からコスモスプラザ入口まで南側に、歩道未整備区間に3.5mの自転車及び歩道を確保したいと建設課長が回答している。関係者の同意は整ったのか。また、工事はいつから実施するのか。進展が見えないが問題点があるのか。

答弁者 町 長